

今年度標語 「ヤコブは次の朝早く起きて、枕にしていた石を取り、それを記念碑として立て、先端に油を注いで、その場所をベテル（神の家）と名付けた。
(創世記28:18.19)

2021年4月18日 (No3)

復活節第3 主日礼拝

司会:山根耕平 奏楽:松村宣恵

前奏 奏楽者
讃美歌 85 (二回) 一同
祈り 司会者

列王記上17章 17~24節
(旧約聖書562頁)

マタイ福音書12章 38~42節
(新約聖書23頁)

(新約聖書60頁) 司会者

讃美歌 325 一同
説教 「しるし一保証書」
五味 一 牧師

讃美歌 441 一同
献金と感謝の祈り 一同

主の祈り 62

頌栄 キリストの平和が (1・5) 一同
祝禱 一同
報告

新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

【本日の集会】

◇主日礼拝 午後2時 カフェ・ぶらぶら

◇お茶の会 コロナウイルス感染防止のため休会

◇臨時教会総会 主日礼拝に引き続いて

【今週の集会】

◇一緒に聖書を読み祈る会 カフェ・ぶらぶら

・4月21日(水) 午後7時

ゼカリヤ書8章 18~23節

(旧約聖書1488頁)

讃美歌 323、456

【次週の予定】

◇復活節第4 主日礼拝

・4月25日(日) 午後2時 カフェ・ぶらぶら

・聖書 ネヘミヤ書2章 11~18節

(旧約聖書740頁)

ヨハネ福音書11章 17~27節

(新約聖書129頁)

・分かち合い礼拝 聖書の言葉と一週間 みんなで

・讃美歌 323、474

【来週の礼拝司会者を決めましょう】

①和田智子 ②広瀬秀幸 ③佐々木実 ④吉田公子
⑤伊藤知之 ⑥山根耕平 ⑦岸澤恵美 ⑧高崎晋 ⑨
山本潔 ⑩早坂潔 ⑪荻野仁

【集会統計】

| 集会名 | 参加者 | 献金 |
|-----------------|--------------|--------|
| 主日礼拝 (4月11日) | 23名 (子1名) | 7,109円 |
| 祈禱会 (4月14日) | 8名 | |

日本基督教団浦河教会臨時総会開催公告

日時 4月18日(日) 主日礼拝後 14時30分
場所 カフェ・ぶらぶら
議案

- 2019年度定期教会総会において決議した第5号議案決議の一部見直しに関する件。
①「教会が現在所有する二つの既存建物の除去」について:旧会堂、通称「べてるの家」の除去を見直し、これを社会福祉法人浦河べてるの家に見直し、これを社会福祉法人浦河べてるの家に所有譲渡する。
②会堂と付属住宅について:二階住宅部分の使用は、当分の間、社会福祉法人浦河べてるの家事務所として賃貸提供する。
- 会堂建築工事実施見積と施工業者選定に関する件。
- 工事契約に伴う経費支払いと今後の工程に関する件。
- 「日本キリスト教団浦河教会納骨堂管理規則」に関する件

2021年4月1日

当教会規則第19条に基づき、上記のように臨時教会総会を開催します。祈りをもってご出席くださるようお知らせします。

宗教法人日本基督教団浦河教会

代表役員 五味 一

頌栄 キリストの平和が

- キリストのへいわが わたしたちのころのすみずみにまで ゆきわたりますように
- キリストのゆるしが わたしたちのころのすみずみにまで ゆきわたりますように

【本日の説教要旨】

「新しい天と地」

イザヤ 65:17-25

マタイ 28:11-15

恐らく、ゴルゴダの刑場では、「罪人が十字架刑で殺される」というような事件はたびたびあったでしょう。しばらくすれば、人々の記憶から忘れ去られていくように。ところが イエスの場合、そうなりません。イエスの弟子たちの間に、「主は生きておられる」「わたしは主に会った」という者が次々に現れ、生前イエスの弟子だった者や女たちが再び強いきずなで結ばれていきました。しかも、「イエスは生きてわたしたちと共にいます」というメッセージをたずさえた運動が弟子たちから起こりました。

イエスを十字架刑に付けることで、一件落着＝“これで片がついた”としていたユダヤの指導者たちにとって、厄介な事件になりました。そこで生まれたのが、「弟子たちが夜中にイエスの死体を盗み出した」（マタイ28:13）という作り話です。マタイ特有の記事です。

この記事には、おかしなことがあります。「明るる日、すなわち、準備の日の翌日(安息日)、祭司長たちとファリサイ派の人々は、ピラトのところに集まって「あの詐欺師は生前『自分は三日後に復活する』と言っていた。ですから三日目まで墓を兵士に見張るよう命令してください」と願い出ました(マタイ27:62-64)。

- ①これは、ユダヤの指導者が事前に復活を予知して、それを否定する画策をねっていたことになります。
- ②しかも予測通りになったので、彼らは兵士たちを大金で買収して、うそを宣伝させました。
- ③相談はピラトの官邸で「安息日」に行いました。ユダヤの指導者がそんなところへ行きますか「安息日に」。
- ④この記事は、ユダヤの指導者が、間接的にイエスの復活を認めた(墓が空であった)ことになります。何ともお粗末な記事です。

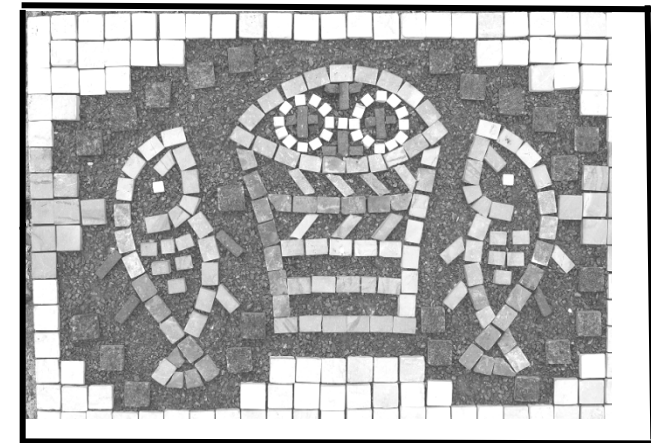
恐らく、「イエスの復活」という信じがたい出来事を、「墓が空であった」という目に見える証拠(客観的事実)を示すことで信じさせようとしたのでしょう。それに対してユダヤの指導者たちは、弟子たちが盗んで隠したのだと否定しました。イエスの復活は墓の問題ではありません。十字架の死に打ち勝った命＝いのちのイエスとの出会いです。信仰の出来事です。

イエスが来られることによって、第3イザヤが預言した“新しい天と地”が実現しました(イザヤ65:17以下)。それは、わたしたちの目に見える美しい天空やコロナウイルスのない世界ではありません。イエスによって知った、この世の物差し、測り、価値体系、死からさえ自由にされた神の支配です。『狼と小羊は共に草をはみ、ライオンは牛のようにわらを食ベ・・・』(イザヤ65:25)る、平和の実現です。イエスとの出会いによって知る新しい世界です。

日本キリスト教団浦河教会

週報

No.3 2021年4月18日



教会創立 1956年

〒057-0022

北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

電話 (FAX) 0146-22-2904

牧師 五味 一

電話 (FAX) 0146-26-3043